



開所日時 月・水・木・金曜日

15時～18時

児童デイ

土曜日 10時～13時

NPO 法人 Well-Being 主催の講座

「実力を出しきれない子どもの援護講座～ADHD の理解と支援」で高山恵子氏 (NPO 法人えじそんくらぶ代表)のお話を聴く機会がありました。

まごころ児童デイには自閉症、ダウン症、その他 ADHD 等の発達に障がいを持つ子どもたちが通っています。だから、その児童の持つ障がいの特性に合った支援をする必要があります。そのような理由から今回の講座は ADHD や LD (学習障がい) に焦点を絞った実際の

ADHD(注意欠陥多動性障がい)の理解と支援講座より

事例も聴く事が出来たので大変参考になりました。講座で上げられた事例を基に次の点について、介護計画の見直しをしたいと思います。

- 子どもたちの特性に合った訓練が出来ているかどうか。
その子の限界を理解出来ているか。
誤解から生まれるトラブルはあるか。
本人との約束を守れているか。



不登校・ひきこもりに関する講演会の案内

◆臨床心理士 安立富昭氏 の講演

日時 9月10日(水) 10:00~11:30
場所 アイプラザ一宮 第3会議室
費用 無料
主催 音楽療法 「カキツバタ」

◆心理カウンセラー 内田良子氏 の講演

日時 9月28日(日) 13:00~16:00
場所 一宮市民会館 大会議室
費用 500円
主催 自立と共生をめざす会「もやい」

今年も親子金華山登山に協力参加します

今年も金華山登山実行委員会で次のように計画されています。参加者とともに、一緒に登って下さる方を募集されています。下記までお電話(73-8707)下さい。

日程 平成20年10月12日(日)
行程 一宮駅—JR—岐阜駅—バス—岐阜公園—金華山
コース 登り: めい想の小道コース
下り: 七曲コース

ちよつと一休み

中日新聞の水谷修さんの記事「明日を求めて・・・子どもたちへ」の中で走るようにただただ山頂を目指していた筆者に、ふもとで暮らすおじいさんの言葉が紹介されていました。

「ぼかだね、あんたがた山屋は。ゆっくり周りを見渡して、ゆっくり楽しんで山に登れば、いろいろな美しいものに出来る。きちんと足もとを見て、一歩一歩味わいながら登れば、おいしいキノコにもいっぱい出合える。人生と一緒に、そんなに急いでどうするんだね。」

その日から彼の早足登山が変わったそうです。

「のんびりとしかもたびたび立ち止まりながら、ただだからだと山に登る。耳を澄ませ、川のせせらぎや鳥の声に触れ、いつも周りを見渡し、美しい山草やキノコと出合う・・・」と書かれていました。

▼走り過ぎない人生

一度しかない人生です。まわりが見えないまま走りすぎるのではなく、今を大切にしようとする気持ちを持ち続けたいものです。ゆっくりと山歩きを楽しみませんか。

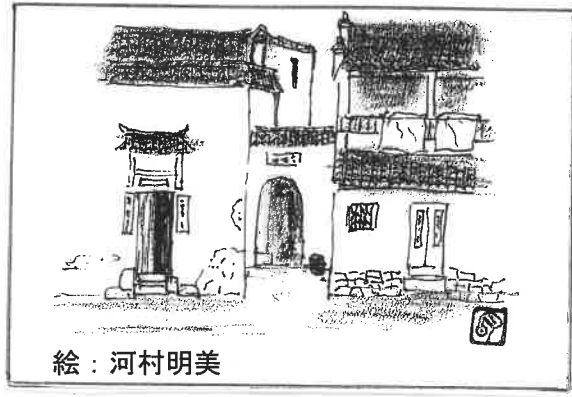
心っれづれ

継続は力なり

賛助会員 河村明美

私が、日本画を始めましたのは、43才頃が初めの一步でした。それから25年続けています。いつのまにか、画材は外国の風景が多くなりました。中でも中国が一番多く、1993年から15年、インド・ヨーロッパも描きましたが、私には中国の風景が合っていました。中国も今は近代化が進み、15年前の上海の街の様子、アットゆう間に変貌...車の多くなったこと、高いビル、高度成長期の中国です。でも、私が行きます所は、少数民族の方達が生活してみえる所で、何百年も代々先祖を大事にし、住み続けてみえる所の家々を描いて来ました。

これから先、何年絵を描く気力を持ち続けられるか、私の課題です。最後に、私は坂村真民さんの詩集から「念ずれば、花開く」この思いが大好きです。私の心のかてです。



絵: 河村明美

～職場体験研修生からのお便り～

拝啓

初秋の候、みなさまにはお変わりなくお過ごしのことと思います。わたしも元気に学校生活を送っています。

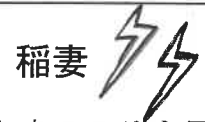
さて、先日は職場体験でたいへんお世話になりました。最初は、何をしたらいいのか、さっぱりわからず、立っただけでしたが一緒にあそぶことができ、よかったです。今回の職場体験は、わたしたちにとってこの上ない貴重な経験となりました。本当にありがとうございました。みなさんのいっそうのご活躍をお祈り申し上げます。

まずはとりあえずお礼まで。

敬具

※一宮市立今伊勢中学校 2年生の生徒さんが夏休み中に、まごころ児童デイの体験学習に参加され、その時のお礼のお便りをいただきました。

ミニデイだよ



稲妻

澄みきった青空と木々のそよ風が秋の訪れを感じさせる日・・・

お盆休みにミニデイも一回お休みがあり、久しぶりに皆さんと顔をあわせたら、Aさんの名古屋弁で「やっとかめだね!」と言うことばがその日の挨拶でした。

一回の休みで、利用者さんもスタッフも生活のリズムが狂ったのか、体の動きも頭の働きもゆっくりとじていましたが、口の衰えも無くお元気でした。時々習字の筆が止まり、やめたい気持ちがあつて落ち着かないのか再びお話に夢中になり、皆さんお話がとても好きです。

午後の散歩の時間、青空がみるみるうちに暗くなり、早々に戻ると、大雨と稲妻が走り、夏の終わりを告げていました。

部屋でトランプをしながら「帰りまでには止むといいけど」「どうして帰ろう・・・」と不安なムードでしたが、帰る頃には雨も上がり、ほっとして皆さん家路に着かれました。

浮き輪持ち プールへ急ぐ 子ら楽し Kさんの句

